

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和4年9月8日（木）
- 2 確認箇所
伐採木一時保管エリアG
- 3 確認項目
伐採木一時保管エリアGの状況

4 確認結果の概要

伐採木一時保管エリアGにおいては、東側で減容化した枝葉類を一時保管槽で管理しており、西側では幹や根を積み上げて保管している。今回は保管状況等を確認した。（前回確認：[令和元年10月7日](#)）（図1）

○東側の保管場所

- ・一時保管槽はシートで養生され、一時保管槽ごとにガス抜き管や温度計が設置されていた。（写真1）
- ・温度を確認すると、約20℃から約30℃であり、異常な高温を示す箇所はなかった。^{※1}（写真2）
- ・令和元年に確認した際と同様、空の一時保管槽が6槽確保されていた。（写真3）
- ・保管場所の数箇所に消火器が設置されていた。（写真4）
- ・協力企業作業員が刈払機により除草作業を行っていた。（写真5）
- ・確認した範囲では、シートの剥離等は見られなかった。

○西側の保管場所

- ・幹と根が分別され、積載高さ5m以下を満足した形で保管されていた。^{※2}（写真6）
- ・根の保管場所では温度計が設置されており、温度を確認したところ約20℃から約25℃であった。（写真7）

※1 東京電力では、伐採木一時保管槽および屋外集積の伐採木（根）の内部温度が60度未満であることを週1回（6～9月の夏期期間は週3回）確認している。

※2 自然発火を防止するために通気性を確保するため、東京電力は伐採木屋外集積エリアの積載高さを5m未満に制限している。

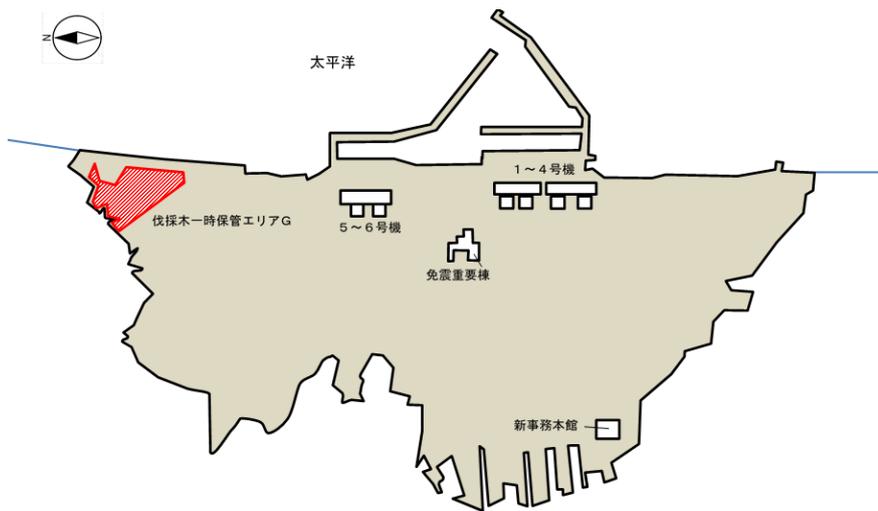


図1 伐採木一時保管エリアG概略図



(写真1-1)
一時保管槽の状況



(写真1-2)
温度計の設置状況



(写真2)
温度計の状況。指示値は24.8℃および24.0℃。



(写真3)
空の一時保管槽の状況。
同じものが全部で6槽ある。



(写真4)
消火器設置状況



(写真5)
除草の状況



(写真6-1)
伐採木(幹)の保管状況



(写真6-2)
伐採木(根)の保管状況



(写真7)
温度計の状況。21.5°Cを指示している。

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。